

佐渡市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン見直し（案）資料No.4参考資料※差し替え

（自然増減）

・子どもを産み育てやすい環境の整備により、合計特殊出生率を5年毎に約0.07ずつ向上させ、2060年までに2.08を目指す

2060年
までに
合計特殊
出生率を
2.08

このままだと
2060年には
人口が
19,789人
程度

2060年
までに
UIターン者が
一定数転入

（社会動態）

- ・生産年齢20歳～44歳の増やす
- ・令和2年度実績UIターン504人（内、20歳～44歳 257人）
- ・UIターン者 2020年 257人
- ・UIターン者 2021年～2060年 300人

2060年に
32,000人
程度の
人口を確保

目指すべき将来の方向

今後目指すべき将来の方向は、人口減少を抑制し、年代間・地域間・所得のバランスのとれた社会を形成することである。そのために、次の取り組みを柱に各種施策を展開し、人口減少の抑制を図る。

①仕事の選択肢の充実や質の高い就労環境の整備を図るとともに、学校・家庭・地域の連携による人材育成により、若い世代の地元就職率を高める。

②移住促進に向けたPR活動を行うとともに、仕事、住まい、教育等の総合的な支援を通じて、市外からのUIターンを促進する。

③結婚・出産・育児・教育・就業の一環した支援により、子育てをしやすい環境を創出し、出生数を増加させる。

佐渡市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン見直し（案） 参考資料

人口ビジョンにおいて将来の人口を見通すため、以下のパターンによって佐渡市の将来人口を推計した。

パターン	推計内容
社人研推計（H27時点）（パターン1）	・平成22年から平成27年の人口動向を勘案した社人研による推計
出生率が向上し、UIターンの転入により移動が一定数増加すると推計（パターン2）	・本市の合計特殊出生率が5年毎に約0.07ずつ増加し、2060年までに2.08となる ・UIターン施策により20歳から44歳の世代が2060年までに一定数増加となる
出生率のみが向上すると推計（シミュレーション1）	・本市の合計特殊出生率が5年毎に約0.07ずつ増加し、2060年までに2.08となる
出生率が向上し、移動が均衡するとした推計（シミュレーション2）	・本市の合計特殊出生率が5年毎に約0.07ずつ増加し、2060年までに2.08となる ・社会移動が均衡となる

